

# 千葉県看護協会 「令和 3 年度 看護職定着確保動向調査（統括保健師）」結果

令和 2 年度の保健師の離職率は市町村保健師 4.8%、県保健師 5.8%で、市町村では定年退職以外の退職者が定年退職者の 3.4 倍であった。

## 調査の概要

目的	県および市町村の保健師の離職状況や教育体制等を把握し、定着確保対策の資料とする。
対象	県および 54 市町村の統括保健師 55 人
方法	調査期間：令和 3 年 10 月 25 日～11 月 5 日 調査票を送付し返信用封筒により回収。
回収状況	県 1 人、市町村 41 人の統括保健師計 42 人から回収 回収率 76.4%

## 調査結果のポイント

### 1. 回答者の属性

- 回答のあった 41 市町村を人口規模別に見ると 1 万人～5 万人未満が 31.7% と最も多く、次いで 5 万人～10 万人未満 22.0%、10 万人～15 万人未満 9.8% の順であった。

表 1 市町村の人口規模別回収数

人口規模	回収数	割合	人口規模	回収数	割合
1 万人未満	3	7.3	30 万人～35 万人	0	0
1 万人～5 万人未満	13	31.7	35 万人～40 万人未満	0	0
5 万人～10 万人未満	9	22.0	40 万人～45 万人未満	1	2.4
10 万人～15 万人未満	4	9.8	45 万人～50 万人未満	2	4.9
15 万人～20 万人未満	3	7.3	50 万人以上	2	4.9
20 万人～25 万人未満	2	4.9	不明（市町村名未記入）	1	2.4
25 万人～30 万人未満	1	2.4	合計	41	100.0

### 2. 令和 2 年 4 月 1 日現在、令和 3 年 4 月 1 日現在の保健師職員数

- 令和 2 年 4 月 1 日現在の県職保健師数は 172 人、41 市町村の合計は 1,114 人で、令和 3 年 4 月 1 日現在の県職保健師数は 186 人、41 市町村の合計は 1,144 人であった。令和 3 年度は 2 年度に比べ、県は 14 人、市町村は 30 人の増員となっている。
- 市町村保健師の令和 2 年度から 3 年度の増減は、増加が 16 市町村、減少が 10 市町村、増減なしが 15 市町村であった。減少している 10 市町村の減少人数は、1 人が 8 市町村、2 人・3 人がそれぞれ 1 市町村であった。

表 2 令和 2 年度、令和 3 年度の保健師数及び増減

年度	県職保健師数(人)	市町村保健師数(人)	合計(人)
令和 2 年度	172	1,114	1,286
令和 3 年度	186	1,144	1,330
増減	14	30	44

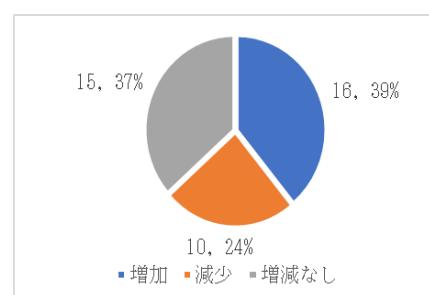


図 1 市町村保健師の増減状況

### 3. 保健師の離職率と退職理由

- 令和2年度に新規採用者を除く退職者があったのは28市町村（68.1%）53人、離職率は4.8%であった。退職者の内訳は、定年退職者が12人、定年退職以外が41人と、定年退職以外の退職が77%を占め、定年退職者の3.4倍であった。  
県の退職者は10人、離職率は5.8%で市町村保健師より高かった。退職者の内訳は定年退職と定年退職以外が同数であった。

表3 令和2年4月1日～令和3年3月31日までの退職者の状況

	あり	割合 (%)	なし	割合 (%)	退職者人数 (人)	離職率 (%) ※
市町村	28	68.3	13	31.7	53	4.8
県	1	100.0	—	—	10	5.8

- 定年退職以外の退職者の退職理由で最も多かったのは「転職・進学」次に「メンタルヘルス不調」であった。

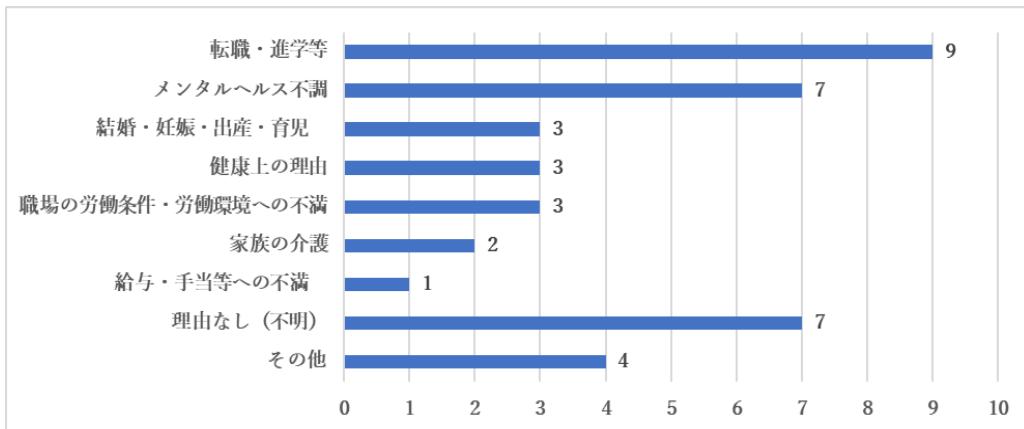


図2 定年退職以外の退職者の退職理由（複数回答）：人

### 4. 保健師の現任教育体制

- 教育責任者は、「配置されている」22市町村（53.7%）、「配置されていない」19市町村（46.3%）で、県は配置されている。  
○教育研修担当者は、「配置されている」25市町村（61.0%）、「配置されていない」16市町村（39.0%）で、県は配置されている。  
○教育研修体制について実施しているものは、「外部研修の活用」41（97.6%）、次いで「内部研修の実施」26（61.9%）であった。自治体独自の個別の研修プログラムの作成やキャリアラダーに沿った研修計画の立案はほとんど行われていない。

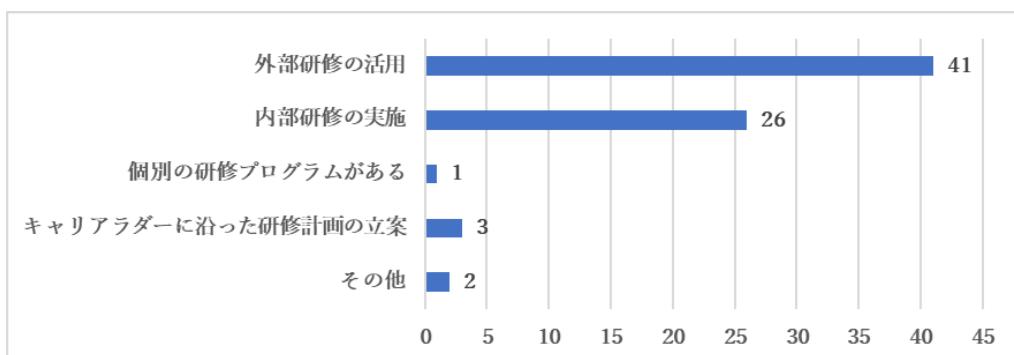


図3 教育研修体制について実施しているもの（複数回答）

## 5. メンタルヘルス相談体制

- メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況は、33 市町村（80.5%）と県で設置されている。

表4 メンタルヘルスに対する相談窓口の設置状況

	設置あり	割合 (%)	設置なし	割合 (%)
市町村	33	80.5	8	19.5
県	1	100.0	—	—

## 6. 保健師の定着・確保に関する課題

- 保健師の定着に関する課題と思われる項目については、「計画的な人材育成」が 28 (66.7%) と最も多く、次いで「労働時間」・「職場内の人間関係」(50.0%) であった。

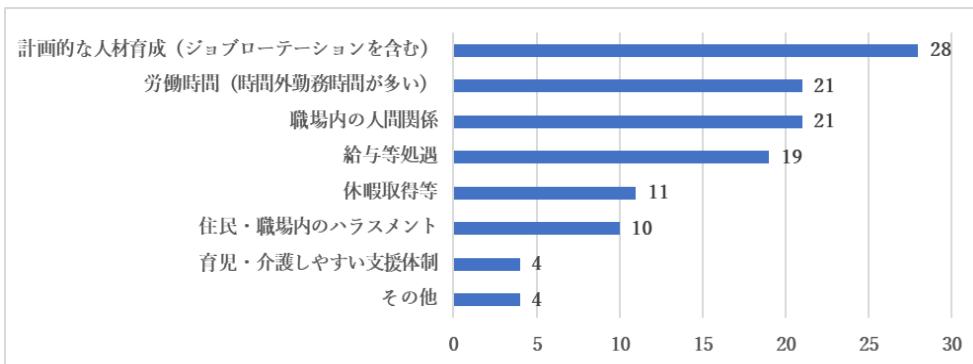


図4 保健師の定着に関する課題（複数回答）

- 保健師の確保に関する課題と思われる項目については、「計画的に採用できない」・「募集しても応募がない」がいずれも 27 自治体 (64.3%) で一番多かった。

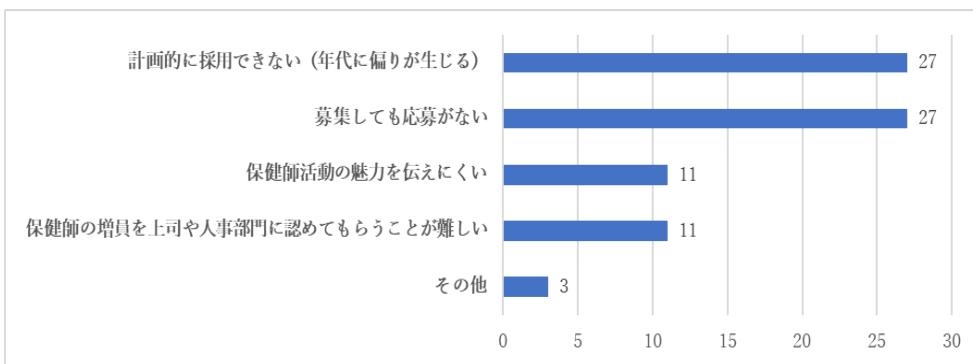


図5 保健師の確保に関する課題（複数回答）

- 看護協会が実施する生涯教育研修への要望は、市町村 24 (58.5%) および県からあり、その内容は「オンライン研修を増やしてほしい」 15 (62.5%) 「保健師を対象としたキャリアラダーに沿った研修を増やしてほしい」 14 (58.3%) であった。

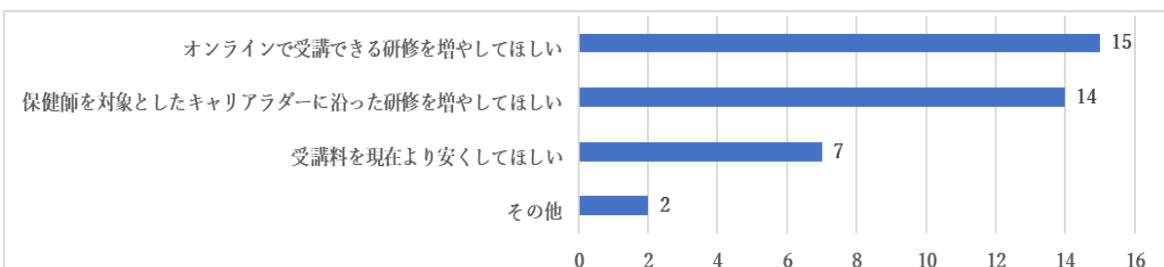


図6 看護協会が実施する生涯教育研修への要望（複数回答）